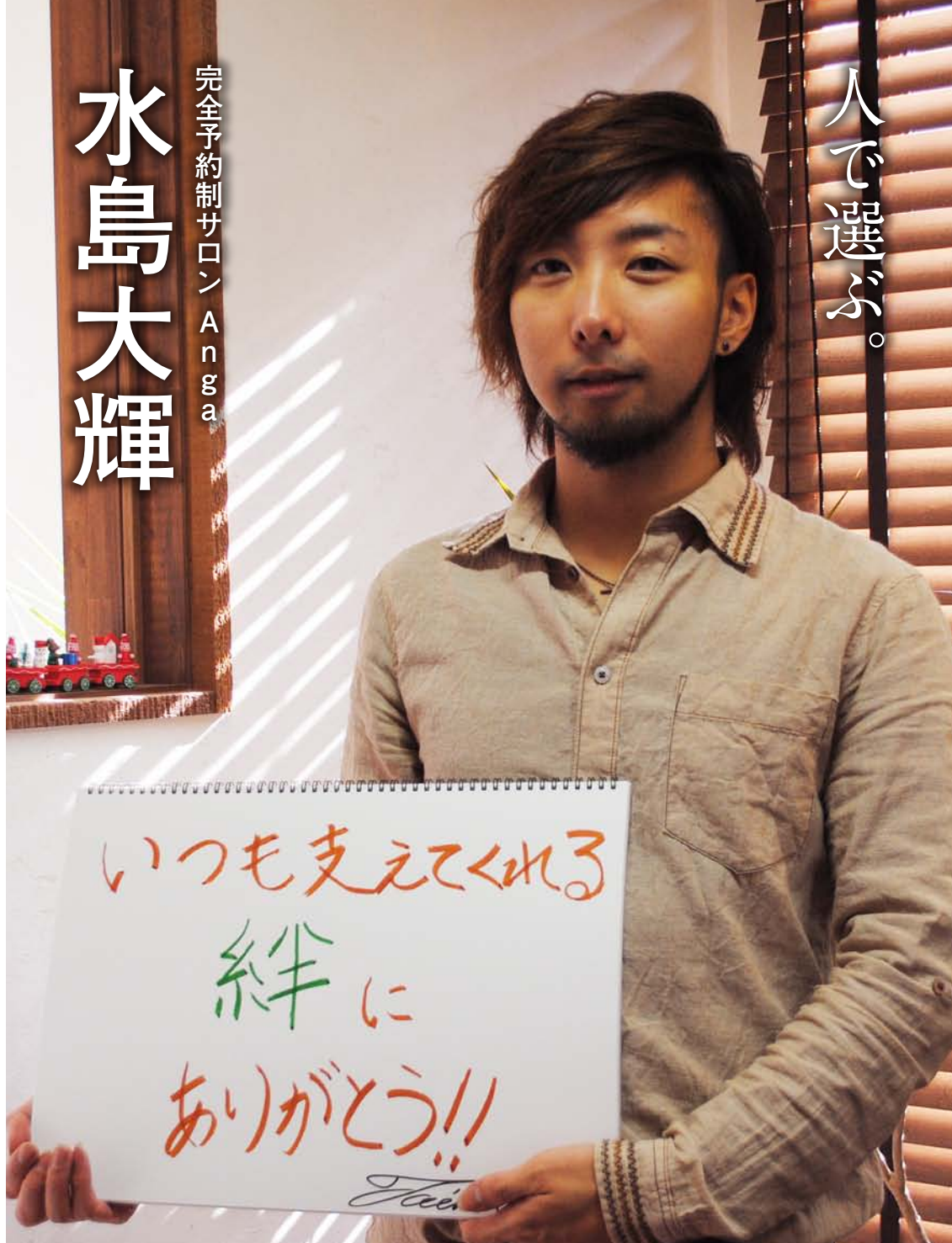


人で選ぶ。

完全予約制サロン Anga

水島大輝



いつも支えてくれる
絆に
ありがとう!!
Flora

TAKE FREE
Vol.114

おやベローカルかわら版

発行：ELABO (イーラボ)
印刷：ヤマシナ印刷株式会社

お金と、お金で得るもの、大切なものはどっち？

「プライベートを大切にするために、仕事をするとかじゃなく、プライベートと仕事に隔たりがない体制でやっていきたい。」そう語る水島大輝くん。口コミでしか知ることのできない完全予約制サロン「Anga アンガ」を立ち上げた。

「自分にとって大切なものは何かを考えると、いつも支えてくれる仲間。絆や縁を大切にしたい。」それを極力カタチにしたのが「Anga」。名前の由来は「ありがとう」。大切だなと思っ



物を購入するとき、どんな基準で選びますか？

「ぼくは人で買うようにしています。よく考えると、昔から自然とそうしていました。人から入って、物を買った。」

サロンをオープンする上でも、これまでのご縁と人で作り上げた。

「人よりも何もできない自分だっけ知っている。だから、人に頼ろうとしているんだと思います。たぶんこの経営者よりも力の弱い経営者かもしれません。」

それこそ、大輝くんの一番大きい魅力だ。

「Angaに置いてある本は、全部お客様の好きな本なんです。」結婚して5年。まもなく3人目の子どもが誕生する。

「ぼくは、高校を出るまで夢というものがありませんでした。」夢を持たずに大学に進学。そこで目標をもっている周りの友人とのギャップを感じた。そんな時、はじめてかけたパーマとカラー。

「オッズの長田さんがきっかけをくれた人なんです。パーマとカラーで、人をそんなに変える力があるんだって。」

「自分もこの仕事を通して、お客様に彼女ができたって話を聞くと、やったね！って思います。」

ひとりの人間の人生が変わる。

「縁でつながっていけるような仕事をしたい。」

お店をその人に合わせていくような特別な場所。それがAngaの最大の武器。

「気をつかわない居心地のいい空間だねって言われることが嬉しい。」

最近、みんなで何かを作っていくことにも楽しさを感じてきた。

「小矢部の中学校合同で同窓会をする企画を準備しています。一人じゃできないけど、みんなですると可能性が広がっていくことが心地いいんです。」

やってみようと思ったことが、みんなとならできるという感覚。

「いい形にはならなかったけど、これが進化することだと思っ。もともとあるものを作るのは面白くない。何かを加えて、新しくしたい。」

「進化」「成長」というコトバを意識し、「個性」「らしさ」を作りたい。

「Angaの前には広い駐車場がある。そこに個性豊かなお店がずらっと並んだらきつと楽しいだろうな。」

みんながやりたいことをできる世界を作りたい。

■水島大輝

1984年3月29日生
4人兄弟の長男。みんなもやりたいと思うことをやっていてほしい。ファミリー向けのコンビニがあたりまえ。

◆Anga【完全予約制】

口コミでしか知ることのできない場所。店内は「アンティーク×アジアリゾート」をイメージした明るく開放感あふれる雰囲気の中にこだわりや遊び心が散りばめられたオシャレな空間。異なるテイストを掛け合わせることで、新しい価値観を創りだします。